

年間指導計画案・評価規準例 帝国書院「明解 歴史総合」歴総046-901

※一部変更の可能性がございます。あらかじめご了承ください。

内容解説資料

教授用資料

学期	月	時数	教科書 ページ	項目(タイトル)	章の課題/節の学習課題	評価規準の具体事例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 ※③は設置する場合の事例として掲載。
1部 歴史の扉						
1学期	4月	1	p.1-2	1章 歴史と私たち	私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結びつきがあるのだろうか。	①身の回りの事象と世界の歴史が結びついていることを理解している。 ②身の回りの事象と世界の歴史との結びつきについて考察し、表現している。
1学期	4月	1	p.3-8	2章 歴史の特質と資料 1 資料を取り扱ってみよう 2 歴史叙述とは何か考えてみよう	私たちは過去の状況をどのようにして知り、伝えてきたのだろうか。	①歴史における資料の重要性和、事実と解釈を分けて読み取るなどの適切な読み解き方について理解している。 ②歴史叙述の特質を踏まえたうえで歴史を学ぶ意義について、考察し、表現している。
2部 近代化と私たち						
1学期	4月	1	p.13-17	1章 「近代化」への問い	「近代化」に関する6つのキーワードから問いを考えよう／立てた問いを踏まえ「近代化」が進む世界を眺めよう	①近代化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身につけている。 ②資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現している。 ③中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。
2章 江戸時代の日本と結びつく世界					17～18世紀のアジアやヨーロッパは、どのように結びついていたのだろうか。	①18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、資料を読み取り、理解している。 ②「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③18世紀の世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
1学期	4月	1	p.19-20	1 アジアのなかの江戸社会	江戸時代の日本は、アジアやヨーロッパとどのように結びついていたのだろうか。	①16～17世紀にアジアとヨーロッパの交易が盛んになった様子を概観し、そのなかで日本が「四つの窓口」を通じて世界とつながっていたことを理解している。 ②江戸時代の社会が成熟していく国内的な背景について考察し、表現している。
1学期	4月	1	p.21-22	2 清の反映と結びつくアジア	18世紀の清は、アジアやヨーロッパとどのように結びついていたのだろうか。	①18世紀における清を中心としたアジアの国際秩序やヨーロッパ諸国との交易について理解している。 ②銀の動きに着目し、清と近隣諸国、ヨーロッパ諸国との交易の特徴について考察し、表現している。
1学期	5月	1	p.23-24	3 アジア・アメリカに向かうヨーロッパ	17～18世紀のアジアやアメリカでは、どのような交易が行われていたのだろうか。	①イスラーム帝国の繁栄とヨーロッパ諸国のアジア、アメリカへの進出について理解している。 ②大西洋三角貿易がアフリカとアメリカに残した課題について考察し、表現している。
3章 欧米諸国で生まれる国民国家					欧米で生まれた市民社会や国民国家とはどのようなものだろうか。	①市民社会と国民国家の形成の経緯について、資料を読み取り、理解している。 ②市民革命および国民国家形成の経緯などから、近代化の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現している。 ③市民革命や国民国家の形成が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。
1学期	5月	1	p.29-30	1 イギリスの革命とアメリカの独立	イギリスの革命とアメリカの独立戦争によって、どのような政治体制が生まれたのだろうか。	①イギリスの革命とアメリカの独立によって成立した、それぞれの政治体制の特徴について理解している。 ②イギリスとアメリカで成立した政治体制とその違いについて考察し、表現している。
1学期	5月	1	p.31-32	2 フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け	革命によって、フランスの政治と社会はどのように変化したのだろうか。	①フランス革命の理念を人権思想の展開に着目して理解している。 ②フランスの政治体制や社会が革命によってどのように変化したのか、新旧の違いに着目して考察し、表現している。
1学期	5月	1	p.35-36	3 革命の拡大と国民意識の芽生え	フランス革命は、当時のヨーロッパやラテンアメリカの政治にどのような影響を与えたのだろうか。	①ナポレオンによってフランス革命の成果がどのように定着し、その失脚後にはどのような国際的枠組みがつけられたのか理解している。 ②ナポレオンの果たした役割を近代化の進展という観点から考察し、表現している。
1学期	5月	1	p.37-38	4 1848年～近代ヨーロッパの転換点	1848年を境に、ヨーロッパではどのような社会に変化していったのだろうか。	①国民国家の形成について、ナショナリズムの運動の広がりに着目して理解している。 ②1848年を転換点とするヨーロッパにおける近代化の経緯と課題について考察し、表現している。
1学期	5月	1	p.39-40	5 イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化	イタリア・ドイツ・ロシアではどのように国民国家が形成されたのだろうか。	①イタリア・ドイツの統一とロシアの改革を推進した人物の役割に着目して、これらの国々の近代化について理解している。 ②ドイツとロシアの近代国家形成の特徴と課題について、考察し、表現している。
4章 産業革命による欧米とアジアの変化					欧米諸国の産業革命と世界進出は、世界の国々にどのような影響をもたらしたのだろうか。	①産業革命とヨーロッパ諸国のアジア進出によって起こった変化について資料を読み取り、理解している。 ②産業革命の展開と国際分業体制の広がりが世界に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③ヨーロッパ諸国のアジア進出がもたらした変化が現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
1学期	6月	1	p.43-44	1 産業革命で変わる社会	産業革命によって発生した社会の変化は、世界の歴史に何をもたらしたのだろうか。	①産業革命の進行と、その結果確立した資本主義による社会の変化について理解している。 ②産業革命による社会の変化に着目し、現代につながるどのような問題が生じたかを考察し、表現している。
1学期	6月	1	p.45-46	2 イギリスの繁栄と国際分業体制	世界市場の形成によって、各地域の経済はどのように変化したのだろうか。	①「世界の工場」とよばれたイギリスの繁栄について、内政・外交の両面から理解している。 ②資本主義の展開や国際分業体制の形成によって、世界各地でどのような変化が現れたかについて考察し、表現している。

年間指導計画案・評価規準例 帝国書院「明解 歴史総合」歴総046-901

※一部変更の可能性がございます。あらかじめご了承ください。

内容解説資料

教授用資料

学期	月	時数	教科書 ページ	項目(タイトル)	章の課題/節の学習課題	評価規準の具体事例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 ※③は設置する場合の事例として掲載。
1学期	6月	1	p.47-48	3 アメリカの拡大と科学技術の発展	アメリカ合衆国の統一と工業化は、世界の動きとどのように結びついていたのだろうか。	①アメリカ合衆国の領土拡大と南北戦争について、国内の一体化と経済発展に着目して理解している。 ②アメリカが工業大国になった背景について、経済や科学技術の面に着目して考察し、表現している。
1学期	6月	1	p.49-50	4 「西洋の衝撃」と西アジアの変化	ヨーロッパ諸国の進出によって、西アジアの社会はどのように変化したのだろうか。	①ヨーロッパの進出に対し、オスマン帝国、エジプト、イランの3か国がそれぞれどのような対応をとったのか理解している。 ②オスマン主義とパン＝イスラーム主義の違いとそれらが生まれた背景について考察し、表現している。
1学期	6月	1	p.51-52	5 南・東南アジアの植民地化	ヨーロッパ諸国の進出によって、南・東南アジアの社会はどのように変化したのだろうか。	①ヨーロッパ諸国の進出にともなって南・東南アジアの国々でおこった動きについて、行動主体に着目して理解している。 ②植民地になった地域の社会がどのように変化したか、各地域の変化や関連に着目して考察し、表現している。
1学期	7月	1	p.53-54	6 ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争	清は、ヨーロッパ諸国の進出に対してどのように対応したのだろうか。	①ヨーロッパの進出に対する日本と清の対応と結果について、行動主体に着目して理解している。 ②アヘン戦争とアロー戦争によって、清とヨーロッパ諸国の貿易や外交関係がどのように変化したか考察し、表現している。
1学期	7月	1	p.55-56	7 黒船の来航と日本の対応	日本は、欧米諸国の進出に対して、どのように対応したのだろうか。	①開国の要求に対して日本側がとった対応を、行動の主体(幕府と各藩)に着目して理解している。 ②清と日本の欧米諸国への対応における相違点を挙げ、その理由について考察し、表現している。
5章 日本における近代国家の形成					日本において、近代国家はどのようにして形成されたのだろうか。	①日本における近代国家の形成過程と特徴について、資料を読み取り、理解している。 ②日本での近代国家の成立について、その前後の変化を比較したり関連づけたりして考察し、みずからの言葉で表現している。 ③日本における近代国家の成立とその後の展開が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
2学期	9月	1	p.61-62	1 新体制の模索と江戸幕府の滅亡	幕末の日本では、近代化に向けてどのような対立が生じたのだろうか。	①欧米諸国の進出によって生じた幕末から明治維新へ向かう日本の政治の変化を、行動主体とねらいに着目して理解している。 ②幕府側と倒幕派＝新政府側の考え方の違いと近代化との関連について考察し、表現している。
2学期	9月	1	p.63-64	2 新政府の誕生	幕末の混乱を経て、明治政府はどのような国家を目指したのだろうか。	①日本が、明治維新の諸改革によって急速に近代化を進めたことについて理解している。 ②明治維新の前後で国のしくみと身分制を含む社会制度がどのように変化したか考察し、表現している。
2学期	9月	1	p.65-66	3 近代国家を目指す日本	明治政府は、なぜ立憲体制が必要であると考えたのだろうか。	①近代国家の成立とそれに伴う領土の確定の経緯について、背景と過程を理解している。 ②立憲体制が確立した日本の政治において国民がどの程度参加できたか考察し、表現している。
6章 帝国主義の影響と日本を含めた東アジアの変化					帝国主義の動きは、近代化が進む東アジア諸国の関係にどのような影響を与えたのだろうか。	①欧米の帝国主義に日本が加わることで日本とアジア諸国の関係がどのように変化したか、資料を読み取り、理解している。 ②帝国主義政策の広がりによって世界的な規模で生じた構造的な変化について考察し、表現している。 ③帝国主義の時代におこった事柄が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
2学期	9月	1	p.71-72	1 帝国主義の広がり与人々の移動	第2次産業革命後、欧米諸国の進出により世界規模でどのような変化が起こったのだろうか。	①19世紀末の世界の一体化について、帝国主義政策による列強諸国の植民地獲得競争に着目して理解している。 ②帝国主義政策や移民による大規模な人口移動が、アジアとアフリカに何をもたらしたのかについて考察し、表現している。
2学期	9月	1	p.73-74	2 世界市場と日本の産業革命	世界市場のなかで、日本はどのようにして産業革命を進めていったのだろうか。	①日本の産業革命について、製糸業や紡績業から始まったことに着目して理解している。 ②産業革命の進展によって国内外でどのような変化が起こったか多面的に考察し、表現している。
2学期	9月	1	p.75-76	3 変動する東アジアと日清戦争	近代化の進展により、日本・清・朝鮮の国際関係は、どのように変化したのだろうか。	①日本・清・朝鮮、それぞれの近代化政策のあり方と日清戦争に至る経緯について理解している。 ②日清戦争の結果、東アジアの国際関係がどのように変化したか考察し、表現している。
2学期	9月	1	p.77-78	4 列強の中国進出と日露戦争	日清戦争後、列強の進出により、東アジア諸国にはどのような変化があったのだろうか。	①日清戦争後の中国の半植民地化と、日露戦争に至る経緯と結果について理解している。 ②日露戦争に伴う日本と欧米諸国の関係の変化について、その要因を考察し、表現している。
2学期	9月	1	p.79-80	5 日露戦争が与えた影響	日露戦争の結果は、世界各国にどのような影響を与えたのだろうか。	①日露戦争と日本の対外進出が、アジア各地の人々にどのような影響を与えたかについて理解している。 ②辛亥革命が起こった原因を、政治体制に関する対立や日露戦争の影響などを踏まえて考察し、表現している。
2学期	9月	1	p.81-82	7章 「近代化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう	現代の諸課題を通し、近代化とは何だったのかを考察しよう。	①2部で学習したことをもとに、2部1章で立てた問いについて再度考え、近代化の特徴について理解している。 ②2部1章で立てた問いや修正した問いに対し、より深く調べるための五つの視点のいずれかから考察し、資料を用いて根拠を明らかにして、みずからの見解を表現している。 ③近代化に関連する現代の課題について、歴史的な経緯を踏まえたうえで考察し、解決を視野に入れて追究しようとしている。
3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち						
2学期	10月	1	p.87-91	1章 「国際秩序の変化や大衆化」への問い	「国際秩序の変化や大衆化」に関する5つのキーワードから問いを考えよう／立てた問いを踏まえ「国際秩序の変化や大衆化」が進む世界を眺めよう	①国際秩序の変化や大衆化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身につけている。 ②資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現している。 ③中学校やこれまでの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。

学期	月	時数	教科書 ページ	項目(タイトル)	章の課題/節の学習課題	評価規準の具体事例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 ※③は設置する場合の事例として掲載。
2章 第一次世界大戦とその影響					第一次世界大戦という経験は、その後の世界にどのような影響をもたらしたのだろうか。	①第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・非戦闘員、植民地や従属地域の人々がどのように戦争に関わっていったのか資料を読み取り、理解している。 ②ヴェルサイユ体制によって形成された新しい国際秩序の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③第一次世界大戦後、国際社会や各国で生じた政治・社会・文化の変化と、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
2学期	10月	1	p.93-94	1 バルカン半島の緊張と世界大戦への道	世界の国々とその国民は、どのようにして第一次世界大戦に関わっていったのだろうか。	①ドイツとロシアの対外政策の変更によって、バルカン半島で国際的な利害が対立していったことを理解している。 ②日本が第一次世界大戦に関わっていった経緯とその後の動きについて考察し、表現している。
2学期	10月	1	p.95-96	2 第一次世界大戦の展開とロシア革命	第一次世界大戦とロシア革命に、それぞれの国民はどのように関わっていったのだろうか。	①第一次世界大戦の特徴と戦争の被害が拡大した要因について理解している。 ②ロシア革命の影響で「終わったもの」と「始まったもの」について考察し、表現している。
2学期	10月	1	p.101-102	3 大戦終結後のヴェルサイユ体制	第一次世界大戦後、国際秩序にどのような変化がもたらされたのだろうか。	①第一次世界大戦後、新しい国際秩序が形成された経緯について理解している。 ②ヴェルサイユ体制の特徴と国際連盟の課題について考察し、表現している。
2学期	10月	1	p.103-104	4 東アジアの民族自決の行方	第一次世界大戦後、東アジアではどのような変化が起こったのだろうか。	①朝鮮と中国における民族運動の高まりと、列強によるワシントン体制の成立について理解している。 ②中国の人々にとって、ワシントン体制がどのようなものであったかを考察し、表現している。
2学期	10月	1	p.105-106	5 中東・インドの民族自決の行方	第一次世界大戦後、中東諸国やインドではどのような変化が起こったのだろうか。	①中東とインドにおける民族運動の経緯と現代まで続く課題について理解している。 ②中東とインドでの国民国家形成における課題について考察し、表現している。
3章 大衆社会の形成と社会運動					なぜ、大衆社会の成立と国際協調の機運が世界規模で広まっていったのだろうか。	①大衆社会の成立によって各国で生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 ②大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
2学期	10月	1	p.109-110	1 大衆社会の出現とアメリカの繁栄	成立した大衆社会は、人々の生活をどのように変えていったのだろうか。	①大衆社会の成立と大衆文化の特徴について理解している。 ②大量生産・大量消費やマスメディアの発達に伴う問題について考察し、表現している。
2学期	10月	1	p.111-112	2 ヨーロッパの復興と大衆の政治参加	第一次世界大戦後、人々はどのようなことを望んだのだろうか。	①大戦後のヨーロッパで、平和を模索する国際秩序が構築されたことと、大衆による政治参加が進んだことについて理解している。 ②大戦後、各国で大衆の政治参加が進んだ理由と影響について考察し、表現している。
2学期	10月	1	p.113-114	3 日本における大衆社会の形成	日本では、どのようにして大衆社会が形成されていったのだろうか。	①日本における大衆の政治参加と大衆社会の形成について理解している。 ②大正デモクラシーをもたらした思想と運動について考察し、表現している。
2学期	10月	1	p.115-116	4 政党政治と国際協調外交の展開	男子普通選挙の実現によって、日本の社会はどのように変化していったのだろうか。	①普通選挙による政党政治の進展と、その課題について理解している。 ②大正時代の日本における民主主義の達成点と課題について考察し、表現している。
4章 揺らぐ国際秩序と日本の行方					なぜ、世界恐慌によって、国際協調体制は崩れてしまったのだろうか。	①世界恐慌から日中戦争の開始に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 ②日中戦争から国家総動員体制の成立に至るまで、大衆がどのように戦争に協力していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 ③日中戦争を取り巻く国際情勢と大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
2学期	11月	1	p.121-122	1 世界恐慌が与えた影響	世界恐慌に対して、各国はどのような政策で対応したのだろうか。	①世界恐慌への各国の対応が世界情勢に与えた影響と、スターリンの独裁体制下でのソ連の動向について理解している。 ②ブロック経済化の動きがもたらした国際的な影響と問題点について考察し、表現している。
2学期	11月	1	p.123-124	2 ファシズムの台頭と拡大	イタリアやドイツの人々は、ファシズムのどのような点に魅力を感じたのだろうか。	①ドイツ・イタリアのファシズム勢力が大衆をひきつけた理由と経緯について理解している。 ②ファシズム勢力に、大衆が同調したり、見過ごしたりした理由と課題について考察し、表現している。
2学期	11月	1	p.127-128	3 政党政治の断絶と満洲事変	なぜ、日本政府は満洲進出を止められなかったのだろうか。	①満洲事変を日本の大衆が支持した背景について、世界恐慌への対応という観点から理解している。 ②日本の大衆や政府が、軍部による満洲進出を止められなかった理由について考察し、表現している。
2学期	11月	1	p.129-130	4 日中戦争の始まり	なぜ、日本は日中戦争へと突き進んでいったのだろうか。	①大衆の支持を背景に台頭した軍部が、政治的発言力を強めて軍備を増強し大陸侵略を目指すに至った経緯を理解している。 ②日本がイギリス・アメリカとの協調をやめ、ドイツ・イタリアに接近した背景について考察し、表現している。
5章 第二次世界大戦とその影響					第二次世界大戦とその後の冷戦は、現代の国際社会にどのような影響を与えているだろうか。	①第二次世界大戦とその後の冷戦構造に至る国際秩序について、日本と関連づけながら資料を読み取り、理解している。 ②国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 ③大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。

年間指導計画案・評価規準例 帝国書院「明解 歴史総合」歴総046-901

※一部変更の可能性がございます。あらかじめご了承ください。

内容解説資料

教授用資料

学期	月	時数	教科書ページ	項目(タイトル)	章の課題/節の学習課題	評価規準の具体事例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 ※③は設置する場合の事例として掲載。
2学期	11月	1	p.133-134	1 第二次世界大戦の始まりと拡大	第二次世界大戦は、どのようにして世界規模の戦争になっていったのだろうか。	①ヨーロッパから、アジア・太平洋に及ぶ戦争に発展する経緯について、理解している。 ②日本が、中国だけでなくアメリカと戦争を始めた理由について考察し、表現している。
2学期	11月	1	p.135-136	2 太平洋戦争の開始とその展開	第二次世界大戦は、アジア・太平洋地域ではどのように進展したのだろうか。	①日本がアジア・太平洋に戦線を拡大していくなか、国内外で行われたことについて理解している。 ②日本、アジア各地、そしてアメリカの人々は戦争をどのように考えていたのか、当時と現在の視点で考察し、表現している。
2学期	11月	1	p.137-138	3 第二次世界大戦の終結とその傷跡	第二次世界大戦は、どのような問題を残したのだろうか。	①なぜ第二次世界大戦で多くの犠牲者が出るようになったのか理解している。 ②戦後の日本とアジア諸国の関係にある深い傷あとや負の遺産と考えられるものについて考察し、表現している。
2学期	11月	1	p.141-142	4 戦後処理と日本の改革	占領下の日本では、どのような国が目指されたのだろうか。	①日本とドイツに対する連合国の戦後処理のあり方と、日本の民主化改革の内容について理解している。 ②第二次世界大戦後の日本ではどのような国が目指されたのか、戦前との相違も踏まえて考察し、表現している。
2学期	11月	1	p.143-144	5 新たな国際秩序と冷戦の始まり	第二次世界大戦後、どのような国際秩序がつくられたのだろうか。	①国際連合について、国際平和の維持に対する達成点と課題を、国際連盟との相違を踏まえて理解している。 ②冷戦がヨーロッパ諸国に及ぼした影響について考察し、表現している。
2学期	11月	1	p.145-146	6 日本撤退後の東アジア	なぜ、日本軍撤退後に、アジア諸国で戦争が起こったのだろうか。	①アジア諸国の独立運動が冷戦構造に組み込まれていく経緯について理解している。 ②独立を達成した国が、なぜ東西勢力にくみしていくのかについて考察し、表現している。
2学期	11月	1	p.147-148	7 冷戦の展開と日本の独立	冷戦は、日本に対する占領政策や東西ドイツの動きにどのような影響を与えたのだろうか。	①日本が独立回復の際に、全面講和ではなく多数講和を選択した理由について理解している。 ②東西冷戦によって戦後の日本のあり方がどのように変化したかについて考察し、表現している。
2学期	11月	1	p.149-150	6章「国際秩序の変化や大衆化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう	現代の諸課題を通し、国際秩序の変化と大衆化とは何だったのかを考察しよう。	①3部で学習したことをもとに、3部1章で立てた問いについて再度考え、国際秩序が大きく変化し、大衆化が進展した時期や特徴について理解している。 ②3部1章で立てた問いや修正した問いに対し、より深く考えるための5つの視点のいずれかから考察し、資料を用いて根拠を明らかにして、みずからの見解を表現している。 ③国際秩序の変化や大衆化に関連する現代の課題について、歴史的な経緯を踏まえたうえで考察し、解決を視野に入れて追究している。
4部 グローバル化と私たち						
3学期	1月	1	p.155-159	1章「グローバル化」への問い	「グローバル化」に関する7つのキーワードから問いを考えよう／立てた問いを踏まえ「グローバル化」が進む世界を眺めよう	①グローバル化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けている。 ②資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、グローバル化を読み解く問いを表現している。 ③中学校やこれまでの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。
2章 冷戦で揺れる世界と日本					アメリカとソ連の緊張とその緩和のなかで、日本を含むアジア・アフリカ諸国は、どのように独立や自立を目指したのだろうか。	①冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 ②冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 ③冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
3学期	1月	1	p.161-162	1 スターリン批判と日本の国際社会復帰	スターリン批判は、国際社会にどのような影響を与えたのだろうか。	①スターリン批判以降の冷戦構造の変化について、各国の国内の動向および相互の関係に着目して理解している。 ②ソ連の平和共存路線への転換が、日本の外交政策にもたらした動きについて考察し、表現している。
3学期	1月	1	p.163-164	2 米ソの緊張緩和と各国の動向	日本は、国内外の状況がどのように変化するなかで高度経済成長を遂げたのだろうか。	①キューバ危機以降、米ソの緊張緩和の下でヨーロッパと日本で起こった動きについて理解している。 ②日本が高度経済成長を達成することができた要因について、国内外の情勢と関連させて考察し、表現している。
3学期	1月	1	p.169-170	3 第三勢力の形成と脱植民地化	国際社会の変化は、アジア・アフリカ諸国にどのような変化や問題をもたらしたのだろうか。	①第三勢力の形成と脱植民地化の動向について、冷戦との関係を踏まえて理解している。 ②独立後のアジア・アフリカ諸国の状況を踏まえ、脱植民地化を進めるうえでの問題点を考察し、表現している。
3学期	1月	1	p.171-172	4 パレスチナ問題と中東戦争	中東の問題は、国際社会にどのような影響を与えたのだろうか。	①パレスチナ問題と中東戦争が、国際社会にどのような影響を与えたかについて理解している。 ②中東で20世紀後半に混乱が続いた要因について考察し、表現している。
3章 多極化する世界					冷戦下で、各国はどのような過程を経て経済成長していったのだろうか。	①冷戦下の1960年代から80年代における各国の選択と経済成長について、資料を読み取り、理解している。 ②各国の選択を比較し、アジア諸国でみられた経済成長の要因や戦後世界史における意義について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
3学期	1月	1	p.177-178	1 ベトナム戦争と揺らぐアメリカ	1960～70年代のアメリカの動向は、国際社会にどのような影響を与えただろうか。	①ベトナム戦争がアメリカ社会と国際社会に与えた影響を理解している。 ②ニクソンショックが国際社会に与えた影響について考察し、表現している。
3学期	1月	1	p.179-180	2 冷戦下の日本とアジアの歩み	1960～70年代の日本とアジアの関係はどのように変化していったのだろうか。	①沖縄の本土復帰の経緯と、復帰後の課題について理解している。 ②戦争賠償および戦後補償などに関して、日本がアジア各国と結んだ取り決めと課題について考察し、表現している。

学期	月	時数	教科書 ページ	項目(タイトル)	章の課題/節の学習課題	評価規準の具体事例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 ※③は設置する場合の事例として掲載。
3学期	1月	1	p.181- 182	3 「経済大国」日本の 影響	1970～80年代の日本が抱えた国 内外の問題は、どのようなもの だろうか。	①1970～80年代の日本の経済大国化とアメリカとの経済摩擦の背景について理解している。 ②「経済大国」となった日本が抱える国際的な課題と求められる貢献について考察し、表現して いる。
3学期	2月	1	p.183- 184	4 経済発展に取り組 む東・東南アジア	なぜ、東アジア・東南アジアの 国々は経済成長に成功したのだ ろうか。	①東アジア・東南アジアの国々がどのような形で経済発展を目指したのかについて、冷戦との 関係を踏まえ理解している。 ②経済発展に成功した国々の共通点について考察し、表現している。
3学期	2月	1	p.185- 186	5 中東情勢とソ連の弱 体化	イラン=イスラーム革命は、冷戦 構造にどのような影響を与えたの だろうか。	①イラン=イスラーム革命とイラン=イラク戦争、そしてソ連のアフガニスタン侵攻について、一連 のつながりとその結果について理解している。 ②なぜイラン=イスラーム革命の成功は、世界の人々に衝撃を与えたのかについて考察し、表 現している。
4章 グローバル化のなかの世界と日本					グローバル化は、冷戦終結後の 世界にどのような成果と課題を生 み出したのだろうか。	①冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解している。 ②グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強まりについて各地域を比較して考察 し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現している。 ③冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとし ている。
3学期	2月	1	p.189- 190	1 冷戦の終結と変わる 世界構造	冷戦体制が終結したことで、世界 構造はどのように変化したのだろ うか。	①冷戦の終結により、グローバル化が進み、世界構造が変化したことを理解している。 ②冷戦の終結によって、なぜ地域紛争が勃発したり、地域統合が進展したりしたのかについて 考察し、表現している。
3学期	2月	1	p.191- 192	2 冷戦の終結が与え た世界への影響	冷戦の終結は、アジアの国々に どのような影響を与えたのだろ うか。	①冷戦終結の過程で、世界各地で民主化の動きが高まったこと、その一方で残る課題について 理解している。 ②第二次世界大戦終結以降、民主化がどのように推移したか、地域ごとに考察し、表現してい る。
3学期	2月	1	p.193- 194	3 超大国アメリカと中 東情勢	アメリカは、中東情勢にどのよ うに関わっているのだろうか。	①冷戦以前から続く中東の状況やアメリカの関与、戦乱に伴う難民問題について理解している。 ②9.11事件はなぜ起こったのか、アメリカの「対テロ戦争」は問題を解決できたのか考察し、表現 している。
3学期	2月	1	p.195- 196	4 国際環境の変化と 日本	国際環境の変化によって、日本 の政治や社会は、どのように変 化しただろうか。	①冷戦終結によって日本国内の政治情勢が変化し、経済のグローバル化の下で日本の国際的 役割が変化していることを理解している。 ②グローバル化が進むなかでの日本の役割について、求められるものと課題を考察し、表現し ている。
3学期	2月	1	p.197- 198	5 グローバル化による 国際社会の変容	グローバル化のさらなる進展によ り、国際社会はどのように変化し てきたのだろうか。	①グローバル化に伴う多極化や反グローバル化運動への対応、多様性の容認などをみずから の問題として理解している。 ②グローバル化のデメリットを一つ選択し、その解決策について考察し、表現している。
3学期	2月	2	p.199- 201,203	5章 「歴史総合」を振り返り 現代的な諸課題の形成 と展望を考えよう	現代の諸課題をグローバル化と いう視点から考察しよう	①4部で学習したことをもとに、4部1章で立てた問いについて再度考え、グローバル化のメリッ トとデメリットを踏まえて特徴を理解している。 ②より深く調べるための五つの視点を踏まえ、これまで学習した内容から現代的な諸課題を一 つ取り上げて探究の方向性を決める問いを設定し、教科書やほかの資料を用いてまとめたうえ で、課題の解決へ向けた見解を表現している。 ③みずから設定した問いに対し、学習して身につけた知識や教科書、その他の資料を活用し て、課題の解決のために、主体的・計画的に探究学習に取り組もうとしている。